

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

共同募金とは

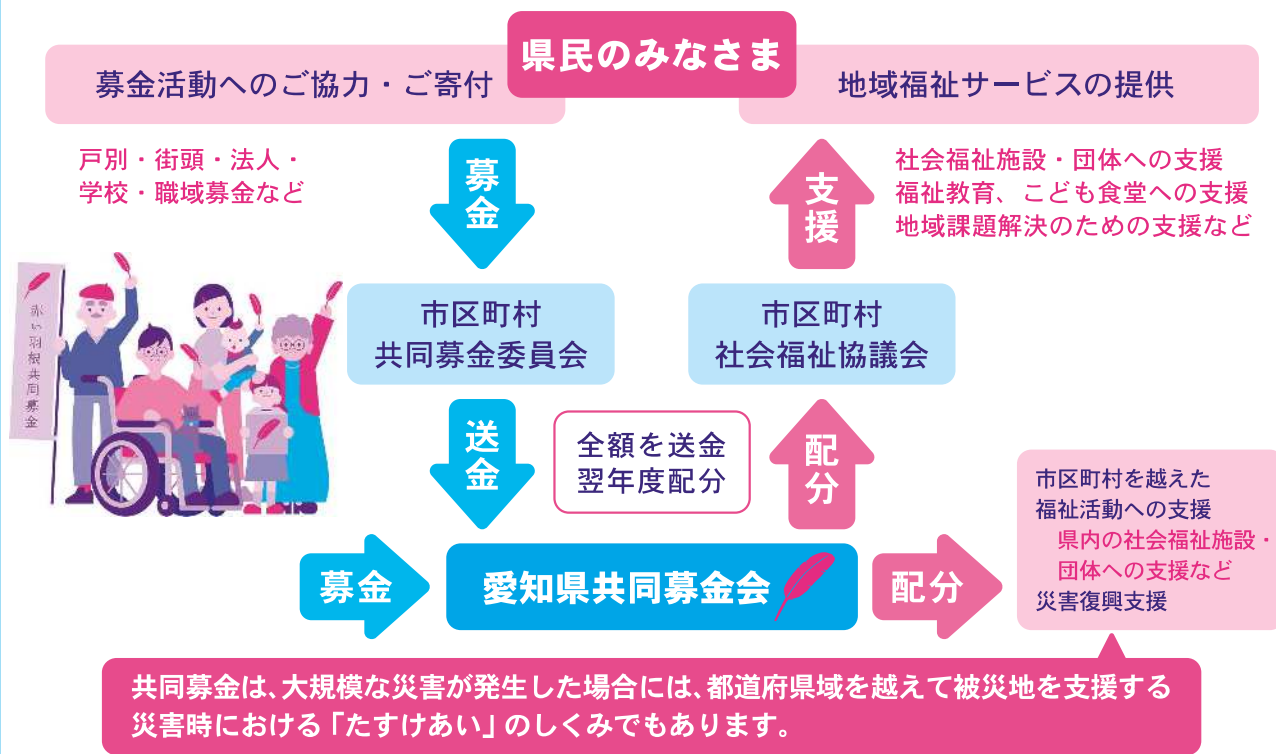
赤い羽根は共同募金のシンボルです。昔、赤い羽根が「善い行い」や「勇気」の象徴とされてきたことによると言われています。

赤い羽根共同募金は、戦後間もない昭和 22(1947)年に、「国民たすけあい運動」として始まり、今年で 80 回目を迎えます。当初、戦後復興の一助として、戦争で打撃を受けた福祉施設を中心に支援が行われ、その後、社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、民間の社会福祉の推進のために活用されてきました。

そして、社会が大きく変化した現在、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援するしくみとして、また、やさしさや思いやりを届ける運動として、毎年 10 月 1 日から全国一斉に行われます。

共同募金のしくみ

愛知県で集められた募金は、愛知県内の福祉活動に活用されています



「PayPay」で赤い羽根共同募金へ寄付できます！

<記名寄付の場合>



- ・1回あたりのPayPay寄付可能額 500円～30万円
- ・領収書発行できます
- ・他の寄付方法（クレカ、コンビニ、スマホキャリア決済等）も選べます

<匿名寄付の場合>



- ・1回あたりのPayPay寄付可能額 100円～1万円
- ・領収書発行できません
- ・PayPayによる寄付のみ

<PayPayによるご寄付の注意点>

※PayPay残高（PayPayマネー）とPayPayクレジットのみ利用可能です。PayPayマネーライト、「PayPayポイント」は利用できません。
※「PayPayマネー」は、本人確認後に銀行口座やセブン銀行ATM、ローソン銀行ATM、Yahoo!フリマ・Yahoo!オークションの売上金を利用してチャージしたPayPay残高です。
※寄付金額に対しての「PayPayポイント」の付与およびPayPayステップは対象外となります。
※「PayPay」で利用できるのは「今回のみ寄付」（単発寄付）のみです。毎月の継続寄付には、現時点で「PayPay」は利用できません。

刈谷のまちを良くするしくみ 赤い羽根共同募金運動



令和8年度目標額

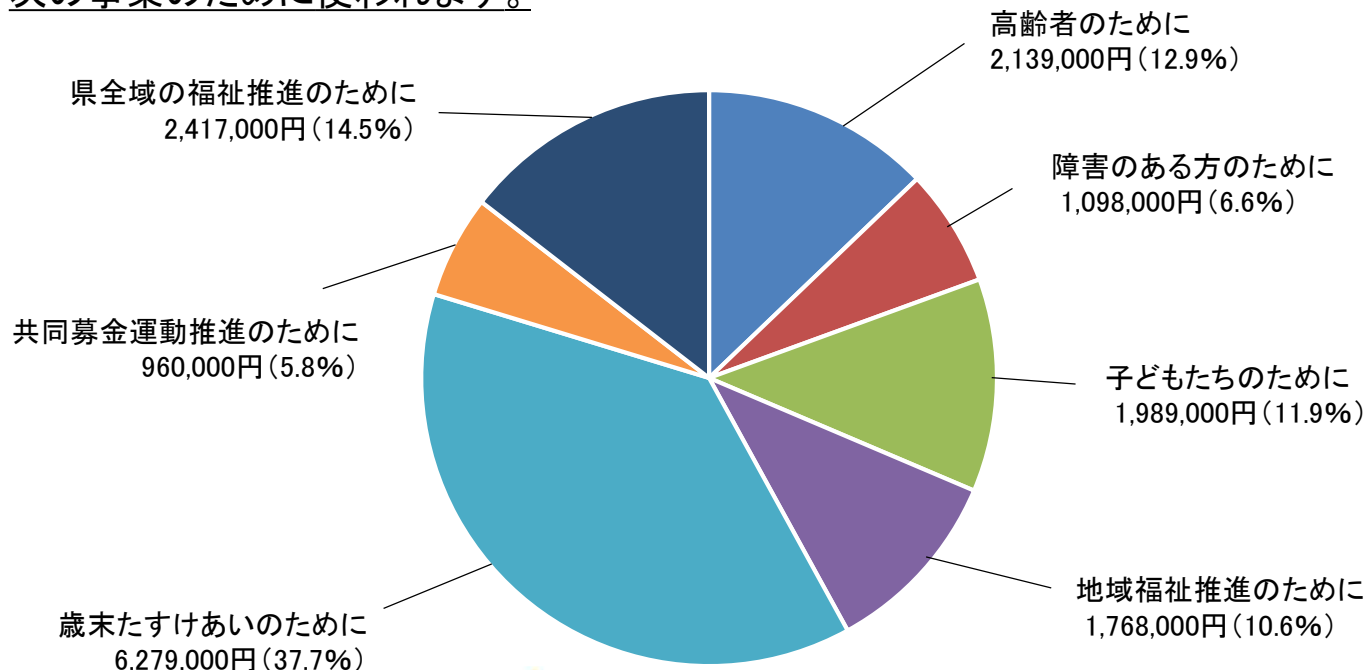
16,650,000円

○共同募金は「計画募金」

共同募金は、使いみちをあらかじめ計画し、目標額を定めてから寄付を募る「計画募金」です。

目標額を達成するために、各家庭、企業、学校など、さまざまな方法で皆さまにご協力をお願いしています。

集められた募金は、
次の事業のために使われます。



高齢者のために

敬老会補助: 507,000円
出張理美容費助成: 711,000円
施設、団体への補助: 840,000円
歩け歩け大会補助: 81,000円



地域福祉推進のために

地区福祉活動費補助: 762,000円
福祉団体補助: 491,000円
災害見舞金: 315,000円
防災対策: 200,000円



障害のある方のために

ボッチャ大会事業: 352,000円
当事者団体等への補助: 746,000円



子どもたちのために

子ども会、保育園等への補助: 1,008,000円
小学生ボッチャ事業: 450,000円
ひとり親家庭入学記念品: 206,000円
赤い羽根作品コンクール: 325,000円



歳末たすけあいに

ねたきり認知症高齢者: 3,286,000円
重度障害児者: 1,320,000円
児童扶養手当受給者: 969,000円
里親: 66,000円
事務費: 638,000円

